

- 氏名：石本 弘次
- 会員番号：PEN0172
- 専門分野：Mechanical



私の場合、一念発起してFE 試験を受けたのは、もう8年も前のことです。2001年秋の早稲田大学、オレゴン州の出張形式の試験でした。これは難なくパスしましたが、そこから長い道のりでした。PE を取ろうにも「米国へ渡航しての受験」と「登録PE の推薦状」という大きな壁があり、また目の業務に追われる毎日で、重い腰はなかなか上がりませんでした。

2007 年秋に初めて国内でPE 受験ができる事を知り、しかも「受けるだけなら推薦も要らない。」ということで、これはチャンスと思い受験しました。このPE の受験勉強は相当しましたよ。4ヶ月くらいみっちり。毎日、会社から帰ると少々仮眠後、4時間くらいは勉強しました。土日は子供がまとわりついて来て煩いので、近所の図書館に通ったりしましたね。参考書は2冊買いました。「Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam」と「Practice Problems for the Mechanical Engineering PE Exam」です。やるとなるとトコトンやらないと気が済まない性分で、この2冊を隅から隅まで徹底的に勉強しました。“やりすぎ”という良い意味での失敗です。「そこまでやらなくても合格するな。」というのは、実際受けてみて感じました。機械系を受験される方は、「Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam」の方だけしっかり勉強すれば十分と、私は思いますので参考にして下さい。

もうひとつ失敗した事は、US 単位の訓練を全然してなかったことです。参考書の問題も全てSI 単位の方で済ましていましたので、本番での問題文が全てUS 単位で出て来て相当焦りました。単位換算のポケット帳を駆使して、何とか合格ラインに漕ぎ着けた感じです。

PE 試験に合格しただけでも、自己満足感がありましたし、登録の方法もよく分からないため「まあ、いずれは登録の機会も来るだろう。」とさらに1年くらい放置して、暢気な生活を送っていました。そして今年春先に偶然、会社で私の上司と会談中のJSPE 内田副会長にお会いしたことで、一気にPE 登録への道が開けました。内田さんの勧めもありワシントン州に申請することを決意しました。社内の先輩PE 3名をなんとか探して推薦状のお願いをしました。登録の過程で同様に苦労されているためでしょうか、意外にも皆さん快く引き受けて下さいました。

その後の申請手続きは前回、前々回のJSPE Magazine で紹介されているとおりに進め、正式な登録証を受領するまで大体4ヶ月はかかったかと思います。何しろ推薦状を下された先輩PE にはお世話になりましたし、先ず日本で受験できる機会を得られてことに感謝しています。試験に合格したという最低限の事実があったからこそ、つまり実力を証明できたからこそ、先輩PE もすんなりと推薦状を下されたのだと思います。